

関西社会学会若手企画「死の社会学」研究会
公開シンポジウム

「死の社会学」の現在地

現代の死の社会学はいかに始動し、どこに向かっていくべきなのか

2025年3月22日（土）13:30～17:30

甲南大学岡本キャンパス3号館324教室

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

澤井敦氏

慶応義塾大学教授

博士（社会学、慶應義塾大学）。大妻女子大学人間関係学部助教授を経て、現在、慶應義塾大学法学部政治学科教授。専門分野は社会学理論、社会学史、死と不安の社会学。著書に『死と死別の社会学—社会学理論からの接近』（青弓社、2005年）、『死別の社会学』（共編著、青弓社、2015年）、『カール・マンハイム—時代を診断する亡命者』（東信堂、2004年）。

中筋由紀子氏

愛知教育大学教授

博士（社会学、東京大学）。現在、愛知教育大学教授。専門分野は死生学、歴史社会学、比較社会学。著書に『死の文化の比較社会学—「わたしの死」の成立』（梓出版社、2006年）。

▶司会	韓光勲（大阪公立大学）
▶趣旨説明	藤井亮佑（関西学院大学）
▶講演1	澤井敦氏
▶講演2	中筋由紀子氏
▶総合討論	磯部美紀（大谷大学真宗総合研究所）、藤井亮佑、渡壁晃（関西学院大学）
▶質疑応答	

一般参加可・
事前予約不要

会場アクセス

阪急「岡本」駅より徒歩約10分

JR「摂津本山」駅より徒歩約12分

▶<https://www.konan-u.ac.jp/access/>



主催：関西社会学会若手企画「死の社会学」研究会
共催：科研費課題（基盤研究C）「社会学的時間批判—公理論化と学説・応用研究の総合による現代的时间現象の批判的研究」（22K01917）
科研費課題（若手研究）「『家族化』されない伴侶動物への墓の建立の意味—『日本人の宗教観』の相対化に向けて」（24K15908）
問合せ：藤井（「死の社会学」研究会代表）（dmf97859@kwansei.ac.jp）